

2015



石神井中だより

平成 27年 6月 24日発行 6月号

- 明るく、健康な生徒
- 正しい判断力を持ち、主体的に
学び行動する生徒
- 豊かな情操を持ち、品位ある生徒

<http://www.shakuji-j.nerima-ky.ed.jp/>

言葉の力

校長 田中 隆史

言葉にはすごい力があります。その力を引き出し、偉業を成し遂げた人たちがいます。それは小惑星探査機「はやぶさ」を無事に帰還させたプロジェクトチームの人たちです。この探査機の地球への帰還は、容易なことではありませんでした。彼らにとっては想定外のトラブルが何度も生じたからです。しかし、そのたびに彼らはその解決策について議論し合い、新たな考えを引き出しながら、それぞれのトラブルを克服してきました。このような議論の中から新たな発想による独自の考えや解決策を導き出すのも「言葉の力」によるものです。

豊かな人間関係づくりにおいても、「言葉の力」が大切だと言われています。それは、何気なく使っている言葉には、ほんのひと言で相手を喜ばせたり、勇気づけたり、あるいは悲しませたり、傷つけたりする力があるからです。

前者のような人を前向きにする言葉に「ありがとう」という言葉があります。感謝の気持ちを「ありがとう」という言葉で言われるとうれしいものです。日常生活の中で当たり前のようになっていることにも感謝の気持ちを込めて、相手に「ありがとう」と言ってみてください。

また、励ましの言葉も人を前向きにします。何かひとつでも褒められると、その日はウキウキとした気分になります。しかし、相手にけなされると、なんだか周囲の景色までもが曇ったように見えます。自分の良いところを褒め、励ましてくれる家族や友人が身近にいれば、すごく勇気が湧き、「頑張ろう」という気持ちになります。

逆に、後者のような乱暴な言葉や思慮を欠いた言葉は、どのような場面においても慎まなければなりません。自分の心の弱さから相手を傷つける言葉を発してしまったために、友人関係がこじれ、いじめ等の問題に発展するケースが多く見受けられるからです。

言葉には、それを使う人の心が表れます。相手に発した言葉が相手の心に良い影響を与えれば、その良い影響がそのまま自分にも返ってきます。豊かな人間関係を築いていくには、常に相手の心情や立場を考え、人をより前向きにする言葉を慎重に選びながら、使っていくことが大切です。

さて、今月は「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」です。本校でも、いじめ・不登校・暴力行為などの問題行動の未然防止に向け、いじめの調査や教育相談活動、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員によるグループ面接を通して、生徒の実態把握に努めるなど、具体的な取組を行っています。

ご家庭におかれましてもお子様の言動に何か気になることがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。また、この機会に「言葉の力」について、ご家庭でも話題にしていいただければと思います。よろしく願いいたします。